ここで紹介した内容は、ケーブルテレビCCNの岐阜商工会議所広報番組「ヒットの兆し」にて毎日放映します（11月）。是非ご覧ください。

魅せましょう！岐阜の花柳界

―岐阜の「華やぎを彩る」伝統と心を受け継いできた、岐阜芸妓―

戦前、岐阜花街は芸妓置屋158軒、芸妓528名が所属し、とても賑やかで華やかだったという記録が昭和5年に発行された『全国花街めぐり』に残っています。
9月17日、その岐阜花柳界の伝統を受け継ぎ「岐阜芸妓組合」の新組合長に就任した可奈子さん。
岐阜のお座敷文化の振興発展を図るべく、現在21名が所属する岐阜芸妓の先頭に立ちました。

岐阜芸妓組合　新組合長
芸妓　可奈子（かなこ）さん

21年間組合長を務めた佳那恵姐さんから「私、そろそろ可奈ちゃんに組合長を引き受けてほしいと思っているの…」と、相談されたのが5年程前のことでした。
「その頃は、私もまだまだ自分は若手だと思っていたので『冗談でしょ』って思っていたの。まさか私が組合長？なんてね。でも、よくよく考えれば40代半ばなんて世の中じゃ、もういい歳だと気がつきましてね。動けるうちに動こう、お姐さんのサポートができるうちに、って思ったの」

職業「芸妓」岐阜花柳界のサラブレッド

岐阜芸妓になろうと思ったきっかけを尋ねると、すぐに屈託のない満面の笑顔が広がりました。
「きっかけ？なんてないのよ。あえてきっかけが何かと言えば、母も叔母も岐阜芸妓だったからかしら」
生まれた時から花柳界にいることがあたりまえ。その世界にいつしか憧れて、6歳から日本舞踊、民謡、長唄と邦楽全般を自ら率先して習いました。そんな時間が楽しくて「早く芸妓になりたい」と思うばかりだったそうです。

そして18歳になり、満を持して芸妓の道へ。

「当時の岐阜芸妓は50人くらいでした。いろいろなことがあり、厳しいと思ったこともありましたが、嫌で投げ出したりすることは一度もありませんでした」
それは、好きで憧れて選んだ「芸妓の道」だから。
「悪かったことは忘れてしまいますしね」

宝物は、お客様からの励ましの言葉

可奈子さんは、結婚を機に5年間、芸妓を辞めていた時期がありました。
「その間、いろいろな迷いもありましたけれど『早く戻ってこい』と、ほんとうに多くの方からお声をかけていただきました。そのおひとりおひとりの言葉を今でも思い出します。どれほど励まされたか。この世界にいていちばんの幸せな思い出です」
そんな可奈子さんが、お座敷で最も大切にしていることは「おもてなしの心」。最上級のおもてなしをするために、今なお日々の努力を惜しみません。
「芸妓という仕事はとても華やかに見えるかと思います。私たちはそのために皆、お稽古を欠かすことなく、それぞれに研鑽しています。芸妓の修業は、教えてもらえることは素直に聞き、あとはお姐さんたちをどれだけ見て覚えるか、です。例えば障子を開けることひとつでも、お姐さんたちの仕草を一生懸命見て覚えたものです」
可奈子さんのものごしは、全てが「しとやか」で「しなやか」。指先の動きひとつにもつい目が留まります。これこそ一流の仕草です。
「失敗しながらも、周りの方々のアドバイスを受け入れながら経験を積んでいく…。そんな一生懸命に学ぶ気持ちが大切だと、私は思います」

私の役目は岐阜芸妓の伝統や誇りを守りながら、新しい風を吹き込むこと

前任の佳那恵姐さんには「若い力で岐阜の花柳界を活性化してほしい」と、業界の牽引を委ねられました。
周りからは「観光文化都市を盛り上げてほしい」との高い期待も寄せられています。
「岐阜のお客様はもちろんのこと、全国からお越しのお客様に『岐阜芸妓はすばらしいね』とお声をかけていただけるよう、お稽古を重ね、皆で芸を高めていければと思っています」
これぞ、今日まで多くの方々に守り育てられた「岐阜芸妓」の心です。

・・・・・・・・・・・・・・

「若い方々には花柳界、芸妓が何か全くご存じない方が多いかと思います。そんな世代の皆様にも『お座敷文化』を楽しんでいただくことも私の使命だと思っています」
そのために、自ら広報活動を積極的に行っていこうと考えています。
「今の時代、もうお客様を待っているだけじゃ、ダメですもの。どんな方法があるかは、皆さんにお知恵を借りながら、新しいことに臆することなく何にでもチャレンジしていきます」
そう、力強く笑顔で語る可奈子さん。

「守るのは当然。だから私、攻めますよ！」

決して今に留まることなく、新しい風を取り入れながら、可奈子さん率いる岐阜芸妓の時代は始まりました。

岐阜芸妓組合
岐阜市高岩町23番地Tel.058-262-4167
http://www.gcci.or.jp/member/geigikumiai/

Q：どうすれば、岐阜芸妓になれるの？
岐阜が大好きで、おもてなしの心を大切にできる方ならどなたでもなれます。（18歳以上）
お稽古の見学にお越しください。興味のある方は、ぜひ上記までお問合せください。

Q：芸妓さんの1日って？
（可奈子さんの普段のスケジュール）

午前 …… お稽古
⇓
正午 …… 昼食
⇓
午後 …… お稽古
⇓
15：00頃 …… 夜のお座敷のためのお支度
⇓
17：30～18：00 …… お座敷
⇓
21：00頃 …… おひらき

前列：（右）可奈子さん、（左）吟日乃さん
後列：（左から）さつ喜さん、莉那さん、千晶さん、紳子さん

可奈子さんの「夢」
「若い芸妓さんがどれだけ増えても大丈夫なくらい大きな芸妓会館を建てたいと思っています。そうしたらみんなもっともっとお稽古でき、好きなだけ芸を磨けます」